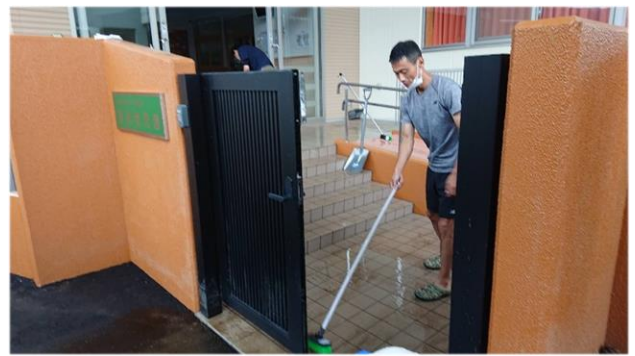


# 熊本市保育園連盟青年部 NEWS LETTER

令和3年6月30日

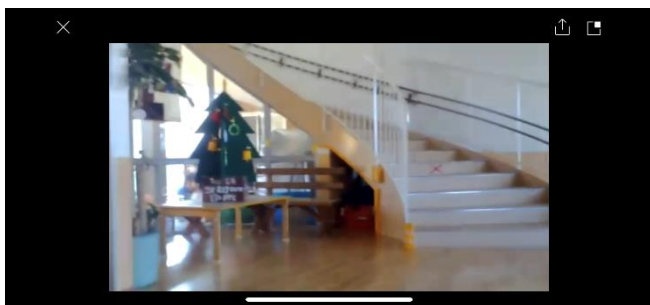
## 令和2年7月 豪雨災害 被災地支援活動

令和2年7月に熊本県南地域を襲った集中豪雨、熊本県保育協会青年部会員園でも甚大な被害を受けた園があるとの一報を受けました。縣市青年部間で情報交換、ニーズの把握を行う中で、被災初期段階の現状では生活支援物資が必要ではないかとの意見で一致し、熊本市保育園連盟青年部会員園へ協力をお願いしたところ、数日の間に多くの物資が集まりました。その集まった支援物資を被災から6日後の7月11日、富永部長と吉本、田中両副部長の3名が人吉をはじめ、芦北、八代と被災された青年部会員園を中心に届けて回りました。今回の支援活動を通し、縣市青年部の絆の強さ、繋がり深さを改めて感じることができました。今年は例年になく早い梅雨入りとなり、長梅雨になるようです。豪雨による水害が起きないことを願うばかりです。



## 青年部オンライン園視察

令和3年1月27日（水）青年部会員間のオンライン視察研修を行いました。コロナ禍でも可能な視察研修を検討し、カメラで園内を撮影しながらリアルタイム配信を行う方法で、オンライン上での視察を実施することができました。視察先として青年部会員園のあゆみ保育園の見学を行い、施設の取り組みを紹介していただきました。田中園長先生の保育への熱い気持ちと、地域の子どもたちへの思いが同じ方向を向き、保護者と共につくりあげる園の保育環境は、子どもたちが主体的に活動できる自由な空間となっていました。視察後は園環境について情報交換を行い、各園の教育・保育を見直すきっかけとなりました。



## 青年部 DIY 研修

令和3年2月17日（水）雑草の森にて「青年部 DIY 研修」を行いました。園生活の中で修理や制作を行う機会が多いことから、基本的な工具の使い方や塗装の方法、ロープの結び方も実際のトラックを用いて実践し学ぶことができました。また、雑草の森にあるテーブルやベンチも塗装をし直し、子どもたちが安全に使用できるよう保護に努めました。薪割りも廃材を用いて体験し、その薪で焚火も行いました。雪が降る寒空の下ではありましたが、暖かい焚火を囲みながら情報交換し交流を深めることができました。それぞれの園ですぐに役立つような有意義な研修となりました。



# 青年部臨時総会

令和3年2月26日(金)午後2時より、くまもと県民交流館パレア第2会議室にて熊本市保育園連盟青年部令和2年度青年部臨時総会が開催されました。

始めに吉本副部長が開会を宣言し、続いて富永部長より「コロナ禍でも出来ることはある。今後も様々なことに取り組んでいきたい。」と挨拶が述べられました。

また、ご多忙の中、熊本市保育園連盟の三浦副理事長と鬼塚専務理事にご臨席いただきました。三浦副理事長より、「コロナ禍だが、青年部らしい今後の活動に期待している」と激励の言葉をいただきました。

第1号議案の令和2年度補正予算、第2号議案の令和3年度事業計画、第3号議案の令和3年度当初予算、第4号議案のその他の議題まですべての議案について全会一致で承認されました。最後に田中副部長の挨拶により閉会となりました。



# WEB アンケート調査

新型コロナウイルス感染症の影響により、各園の日々の教育・保育の活動も大きく制限を受けました。そのような状況の中、熊本市青年部では、グーグルフォームを使ったWEBアンケートにて、各園のコロナ禍での教育・保育の取り組みの工夫や困っていること等の調査を行いました。8月には運動会の行い方、11月には発表会やお遊戯会の行い方、さらに1月には職員を対象としたコロナ禍での意識調査を行いました。各園の感染症対策や行事に対する工夫、職員のメンタルケア等を共有し自園の運営に生かすことができました。たくさんの園からアンケートへのご協力をいただきありがとうございました。

## コロナ禍の運動会 アンケート結果

熊本市保育園連盟 青年部調査広報委員会  
令和2年8月  
回答数・・・26

## コロナ禍の発表会、お遊戯会 等についてのアンケート 結果

令和2年11月  
回答数・・・27カ所  
熊本市保育園連盟 青年部 調査広報委員会

## コロナ禍の保育に対する 意識調査 アンケート結果

熊本市保育園連盟 青年部  
令和3年1月  
回答数 156